



フレイリーダーより

ベーゴマに熱中する子どもたち

うさぎ山では、ベーゴマに熱中する子どもたちが多くいる。

みんな最初は何もできないが、いろいろな人から教えてもらい、回せるようになり、巻くことができるようになる。



うさぎ山にきた最初の頃、いい勝負していた子たちはどんどん上手くなっていき、今では全く歯が立たない。3ヶ月前に初めて触った子たちですら、自分より強くなっている。最初の頃は「ていが対戦するよ!」と言っていたのに、気づくと対戦すらしてくれない。

「ていが弱いからな～」とからかってくるほどだ。ベーゴマが好きな子たちは夏休み期間中もほぼ毎開園日にきてはベーゴマをしていた。彼らたちのベーゴマ熱にはとても驚かされる。誕生日プレゼントにベーゴマを選ぶ子も出てきている。ベーゴマが上手くなっていき、ベーゴマの数が増えてくると「ホンコ」をする子が出てくる。

「ホンコ」とは自分のベーゴマをかけた戦い。弾き出されて負けてしまうと相手にベーゴマを取られてしまう。取られるのが分かっても相手のものを取りたいから行っているのだろう。

時々ベーゴマの交換もしていることもあるので、交換じゃなく「ホンコ」をするということは、それだけ子どもたちは「ホンコ」をしたい気持ちがあるのだろう。子どもの「やりたい」は大切にしたいので、「ホンコ」をやめさせるつもりはない。むしろやってほしい。けれど、高価で買ったベーゴマを出す子がたまにいるので、出さないで大切にしてほしいな、と思ったりする。

また、最近では、ベーゴマで商売しようとする子も出てきている。

以上、気になることを少し書きましたが、最近の様子を親御さんたちに少しでも知ってもらいたいと思い、お伝えします。もし、そのような状況があったとしても、全て禁止するようなことはしないで欲しいと思います。気になることがあれば、ていがに伝えにきてください。

一緒になって考えていきたいです。一つのものに長い期間熱中できることってすごく少ないと思います。これだけ熱中できることが羨ましい限りです。これからも子どもが自由にできる環境を一緒に考えていきましょう。